

別表2

## ビューティスペシャリスト科 教育課程

区分		履修科目名		1年		2年		合計		実務経験 担当教員
				単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必須科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能	2	60			2	60	○
			皮膚科学	1	30			1	30	
			公衆衛生			1	30	1	30	
			化粧品化学			1	30	1	30	
			色彩学	1	30			1	30	
		実習	ブライダル概論	1	30			1	30	
			アロマセラピー基礎	2	60			2	60	
			ネイル基礎	4	120			4	120	
			メイクアップ基礎	4	120			4	120	
			ヘアアレンジ基礎	1	30			1	30	
キャリア基礎力	講義	着付け			2	60	2	60		
		エステ基礎	4	120			4	120		
		ビジネスと仕事の実践			1	30	1	30		
		サービス接遇	1	30			1	30		
必須科目計				21	630	5	150	26	780	
選択必須科目	メイク分野	講義 実習	メイクアップ I	4	120			4	120	
			メイクアップ II			4	120	4	120	
			イメージメイク	2	60			2	60	
			イメージメイク応用	2	60			2	60	
			ブライダルメイク	2	60			2	60	
			撮影メイク			2	60	2	60	
			コスメティック販売実習			2	60	2	60	
			メイクセラピー I	1	30			1	30	
			メイクセラピー II			1	30	1	30	
			メイクセラピー III			1	30	1	30	
	ネイル分野	講義 実習	ネイル I	10	300			10	300	
			ネイル II			10	300	10	300	
			ネイル III			2	60	2	60	
	エステ分野	講義 実習	解剖生理学 I	2	60			2	60	
			解剖生理学 II			2	60	2	60	
			エステ(ボディ)	8	240			8	240	
			エステ(フェイシャル)			8	240	8	240	
	トータルビューティ分野	講義 実習	アロマセラピー I			1	30	1	30	
			パーソナルカラー			1	30	1	30	
			ヘアアレンジ I			1	30	1	30	
メイクアップ応用					2	60	2	60		
		トータルコーディネート			1	30	1	30		
選択必須科目				31	930	38	1,140	69	2,070	
選択科目	※トータルビューティ分野	講義 実習	メイクアップ特論 I			4	120	4	120	
			メイクアップ特論 II			4	120	4	120	
			ネイル特論 I			4	120	4	120	
			ネイル特論 II			4	120	4	120	
			エステ特論 I			4	120	4	120	
			エステ特論 II			4	120	4	120	
	※ビジネス基礎力分野	講義 実技 実習 研修	パーツケア実習 I			1	30	1	30	
			プロップアート	1	30			1	30	
			サービス接遇特論	1	30			1	30	
			基本 IT 技術			1	30	1	30	
			キャリアデザイン	1	30			1	30	
			プレゼンテーション			1	30	1	30	
			ビジネス文章力	1	30			1	30	
			論理的思考力基礎	1	30			1	30	
			ビジネス英語			1	30	1	30	
			インターンシップ			1	30	1	30	
			サロン運営 I			2	60	2	60	
			サロン運営 II			2	60	2	60	
			サロン運営 III			2	60	2	60	
			イベントプロデュース	1	30			1	30	
企業研究			1	30	1	30				
企業研修			1	30	1	30				
ボランティア活動	1	30	1	30	2	60				
選択科目計				7	210	38	1,140	45	1,350	
総計(必須+選択必須+選択)				59	1,770	81	2,430	140	4,200	

## 卒業要件資格

- ・共通 : JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 パーソナルカラー検定3級 アロマセラピー検定2級
- ・共通エステティック分野選択者 : 国際エステティック連盟(INFA)ボディバースポート試験
- ・メイクアップアドバイザー分野選択者 : JMA日本メイクアップ技術検定2級 メイクセラピー検定3級
- ・ネイリスト分野選択者 : JMA日本ネイリスト検定2級 JNAジェルネイル検定初級

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※卒業の要件:必須科目26単位(780時間)及び選択必須科目と選択科目合わせて38単位(1140時間)以上、計64単位(1920時間)以上の履修

## 2019年度 シラバス

科目名	エステ基礎	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は実技を中心とする。 上速度を確認するために、適宜チェックテストを行い、テクニックを確実なものとするようにする。							
授業の一般目標	人体の構造及び機能で学んだ知識を活かし、施術をし、モデルのボディバランスの変化を知ることによって施術する喜びを感じる。 人に触れる施術を行うことで、接客する上での心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	導入 肌に触れるという事	準備・時間厳守・身だしなみを整えることを学ぶ ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターバンの巻き方の・タオルセットの方法を学ぶ						
第2週	オイル塗布、軽擦を学ぶ	オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける)						
第3週	ヒップアップの手技、指圧を学ぶ	バイブレーション・プレシオン(指圧)						
第4週	足裏のマッサージを学ぶ 強擦法 切打法を学ぶ	かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫						
第5週	足裏のマッサージを学ぶ 足裏の血行促進方法を学ぶ	足の裏8の字・足の裏のプレシオン・足の裏の指圧						
第6週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ タッピング法を習得する	腓腹筋のマッサージ①・腓腹筋のマッサージ②・タッピング						
第7週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ 足首ストレッチ法を習得する	内分泌のツボ・足首のストレッチ・足のストレッチ						
第8週	マッサージ後の効果検証	オイル塗布から足のストレッチまで通し(左右の脚で実践) 疑問点・苦手部分を確認する						
第9週	脱毛学 水溶性WAXによる脱毛処理を学ぶ	毛の構造、ヘアサイクルを理解する 水溶性WAXの使用法、注意点を学ぶ						
第10週	セルライトにアプローチする マッサージを学ぶ ペトリサージュを習得する	ペトリサージュ (体の移動・密着を習得する)						
第11週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 1 切打法を習得する	切打 (体の動き・手の動きを習得する)						
第12週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 2 拍打法を習得する	拍打 (手の動きを習得する)						
第13週	マッサージ後の沈静方法を学ぶ 擦り上げを習得する	擦り上げ (手の動き・手の圧・密着を習得する)						
第14週	フットマッサージ全工程 復習 1	下肢背面 通し確認(左右の脚で実施) 疑問点・苦手部分の克服 下肢背面 通し計測 ペアで確認しあいアドバイスをして手技を習得する						
第15週	フットマッサージ全工程 復習 2	期末テスト詳細連絡 下肢背面 通し計測						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D :59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

## 2019年度 シラバス

科目名	人体の構造及び機能	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を確認する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	解剖生理学の基礎を学び習得する 健康や美しさを維持するための基本知識を習得する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 解剖生理学についてを説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 解剖生理学について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する。							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容	備 考					
第1週	導入 美しさと健康	座学の学習の進め方を学ぶ 解剖生理学について学ぶ 解剖生理学を学ぶことでどんな事が解決できるかを知る						
第2週	細胞 組織・器官・系統	細胞とは何かを学ぶ 組織・器官・系統とは何かを学ぶ						
第3週	骨格系統 1 骨格系統 2	骨の名称 働き 骨粗しょう症について学ぶ 骨と関節の構造と役割について学ぶ						
第4週	筋肉 1 筋肉 2	筋肉の構造と働きを学ぶ マッサージへの影響を学ぶ 筋肉の名称と場所を学ぶ(起始・停止)						
第5週	消化器 1 消化器 2	消化器の構造を学ぶ ・消化作用 消化器について学ぶ ・胃・小腸・大腸・肝臓・すい臓						
第6週	栄養学	3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー グループワーク						
第7週	栄養素	各栄養素についてグループ発表						
第8週	呼吸器	呼吸器系について学ぶ ・腹式呼吸と胸式呼吸						
第9週	循環器 1	リンパについて学ぶ ・リンパとは何か ・リンパの流れ						
第10週	循環器 2	循環器について学ぶ ・血液の成分、働き、循環経路 ・静脈・動脈・毛細血管 ・血圧脈拍						
第11週	排泄器	排泄器について学ぶ 腎臓、尿管、尿の生成について学ぶ 腎臓の病気を学ぶ						
第12週	神経系	神経系の基本知識を学ぶ ・大脳と神経の伝導 ・自律神経について学ぶ						
第13週	内分泌	ホルモンについて学ぶ ・作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類						
第14週	期末テスト対策	今までの内容を振り返り、見直し						
第15週	期末テスト	期末テスト						
成績評価方法	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D :59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			